

平成29年度第5回阪南市市民協働推進委員会 会議録

名称	平成29年度第5回阪南市市民協働推進委員会
開催日時	平成30年2月27日（月） 午後6時00分～午後7時50分
開催場所	阪南市役所3階全員協議会
出席者	【推進委員】吉田委員、有田委員、今井委員、中本委員、横田委員、猪俣委員、砂本委員、川崎委員 8人出席 【事務局】地域まちづくり支援課 穴道課長、辻野主幹、松尾主幹、岩下総括主事、古谷主事
傍聴人数	0人
議題	市民協働事業提案制度について 「協働事業報告会」本のリサイクル関連事業（リサイクルブック“つながり”）について
資料	資料1 まちづくりを一緒に取り組むための種シートについて 資料2 平成30年度阪南市市民協働事業提案制度募集要項 資料3 平成30年度阪南市市民協働事業提案制度募集案内 資料4 協働事業報告会等について 参考資料 リサイクルブック新聞記事
要旨	協働の種シート及び平成30年度市民協働事業提案制度について、資料1、資料2、資料3に基づき、事務局より説明。 「協働事業報告会」本のリサイクル関連事業（リサイクルブック“つながり”）について、資料4、参考資料に基づき、事務局より説明。
会議	<p>【市民協働事業提案制度について】</p> <p>事務局 協働の種シート及び平成30年度市民協働事業提案制度について、資料1、資料2、資料3に基づき、事務局より説明。</p> <p>（推進委員からの意見、質疑・応答）</p> <p>委員長 募集要項と募集案内に基づいて説明いただきました。 また、前回のふりかえりで協働の種シートについて、ご本人の理解を得てないため、今回は公開はできないけれども、すでに1件の応募があったという報告がありました。 大きく要項を変えるということはいませんが、委員の皆様で、ご意見、ご質問がありましたら、お聞きください。</p> <p>委員 現在、市設定テーマを庁内で募集されているとのことでしたが、今年度は、職員の方が現場で市民活動の体験をする研修を行った新たな取り組みなども踏まえて、市設定テーマが出にくいことや、出てきても的がはずれているようなものもある中で、市設定テーマの募集について研修を踏まえて工夫されている点がありますか。</p> <p>事務局 実際にその研修に行かれた庁内推進委員の方々に対して、市設定テーマを検討していただくように、お声掛けさせていただいています。委員ご指摘の点も踏まえながら出していただくように、お願いしています。ただ、実際に現場に行かれた内容とは違う業務をされている方も多数いますけれどもそのような視点を持っていただくようには声掛けをしています。</p> <p>事務局 また、現場研修に行ったふりかえりで、現場研修に行ってそれを協働事業に活かせるのかという研修も行っています。具体に出てくるのが一番良いのですが、難しいところがあるのは事実です。ですが、現場で実際に活動されている方がいることは分かっていますので、今協議を詰めているところについては、今までとは違った協働事業が出てくるのではないかと期待はしています。協議している中で本日お出しできるまで協議が整っていないところがあります。</p> <p>委員 実際に現場研修に行かれた職員さんが、課長とかではなく現場に出る職員さんだったと思います。市設定テーマで提案する場合は、課として、決裁をとってからというものになりますか。それとも1職員が現場で感じてきて、このようなことを提案したいのですというものが市設定テーマとなるのでしょうか。</p>

事務局	課として、市設定テーマを出すことになります。職員がこのようなことをしたいと思った場合は、課の決裁を取っていただけてからになります。
委員	行政内のルールや事情はあると思いますが、できるだけ現場で感じた職員の想いがそのまま表れるような仕組みも考えていただければ良いかと思います。
委員長	職員の方が行政職員版種シートとして、種シートを使うというのも良いのかもしれませんが。今は、所属している部署が違うので、課に持ち帰って市設定テーマとするのは難しいかもしれませんが、個人的に出したいというものがあるかもしれないというご意見でした。 要するに、たくさんテーマが出てきて活性化することが趣旨ですので、行政機関のため難しいとは思いますが、できるだけ柔軟にいただければと思います。何件くらい出てくる見込みですか。
事務局	今のところは、数の期待はしていただかない方が良いのではないのでしょうか。
委員長	出てこないという訳にはいきませんので、1件は出てくるようにしていただければと思います。
委員	種シートと募集案内は少しデザインが違うので、種シートの方が目につきやすいのかなとは思いますが、普段市民の皆さんが、見るのは、種シートになるのでしょうか。それとも募集案内になるのでしょうか。これはどちらから見るものなのかと思いました。種シートを見ていると協働事業提案制度に繋がりますよという記載があるのですが、募集要項にはないので、どちらを先に見るのか教えてください。
事務局	募集案内については、どうしても期間限定のものになってしまいますので、4月2日～5月31日の募集期間があるため、それより前にはお出しすることにはなりません。種シートとももちろん関係性のあるものですが、全てが種シートから提案制度にすぐに繋がるという訳ではありません。種シートは常時、提案制度は約2カ月間ということになるので、使用する時期が違います。
委員	種シートは、時期に関係なくあって、アイデアがある人は、種シートを使うということですね。ということは、その期間中に、市民協働事業提案制度募集案内を見て募集しようかという人がいれば、種シートという存在を知らない人もいますよね。種シートで応募した人は、この期間ですることがわかるので、提案制度に繋がるといった感覚ということですね。
委員長	種シートは、常時市民活動センターにいつも置いてあって、募集案内の方は、大体期間限定なので、その間置かれているということですね。その辺りの位置付けが難しいということですね。
委員	募集案内には、種シートのことが書かれていないので、市民の皆さんが先に手に取るのはどちらなのかと思ったのです。
委員長	時期によって、そもそも募集案内が置いていない時期の方が多いい訳ですよね。種シートは、時期に関わらず置いているということですね。種シートから、入った人はどこに位置付けられているかわからないという人もいますかもしれません。それは、種シートで見てくださいということです。

- 副委員長 種シートというのは、すごく身近にあり、応募しやすい感じがします。深く考えすぎず、「案があるからちょっと応募してみようかな」と思えるので市民からすると種シートの方が出しやすいのではないのでしょうか。募集案内の方がとっつきにくい印象を受けます。
- 委員長 何よりも種シートの趣旨が、「身近に提案していただく」ということなので、気楽に、いつでも提出いただけることは趣旨と合っていて、種シート提出後については市民活動センターを活用していくという流れになるということですね。
- 副委員長 平成30年度募集要項内にて、提案・応募できる事業と団体を限定してしまっているので、事業・団体共に非該当で応募できない方のために募集要項の中に一文種シートについて表記し、周知してはどうでしょうか。せっかく、種シートの作成をしたのだから、上手く連動させれば更によくなるのではないのでしょうか？
- 委員長 募集要項が確定版でなく、修正が利くのであれば、種シートについて追記したほうがいいかもしれませんね。
- 委員長 種シートの中にも市民協働事業提案制度と連携が取れるよう、タイムテーブル等の記載があるといいかもしれませんね。募集要項についても6月1日以降はない（周知しない）のですよね。この日以降種シートのみしか目に出来ない状況になるので、種シートを見て今後の流れがわかるようにフロー図をつけるといいんじゃないかなと思います。
- 委員長 今回の募集要項の中では、参考として成案化された実績・事例の紹介があるので、前回の募集要項より提案についてイメージがわかりやすくなってきますよね。平成30年度の募集要項内に種シートの活用について、文言の追記があればいいですね。
- 副委員長 事前相談を設け、先程口頭で「気軽に相談できる。」との説明を受けましたが、募集要項には「事前相談を行います」との記載だけで、すごく事務的・義務的に感じられるので文言を「行います」から「できます」等に変更し、設けた理由の記載があったほうがいいと思います。また、「協働事業を募集します」という文言の下に応募方法について、様式が添付されているページやダウンロード場所を記載したほうがいいと思います。後はフロー図にある日付の標記について元号ではなく、「平成」という元号ではなくなるので、西暦表記の方がいいのではないのでしょうか。
- 委員 事前相談を市民活動センターで行います。とのことでしたが、大阪NPOセンターの職員の方はいつもはいらっしゃらないのではないですか？
- 事務局 主に、火曜日と木曜日にいらっしゃいます。専門相談については火曜日に行っております。事前相談の予約をお電話でとっていただければ日程調整が可能かと思えます。
- 委員長 募集要項に記載の事前相談については文言を変更し、応募方法については募集要項内に様式の添付がある旨とホームページからもダウンロードが出来ることも周知するように記載をしていただくようにしましょう。
- 委員 募集要項だけをみると、休館日以外いつでも相談できるように解釈出来るので、相談日は火曜日であると表記してはどうですか？
- 事務局 火曜日以外であっても、コーディネーターはいるので相談は受付可能です。あまりにも専門知識を要するようであれば内容をお伺いし、専門相談員と相談の上で回答となる可能性はありますが、基本的には開館している時間内であればいつでも受付をさせていただきます。ですが、何度も足を運んでいただくのもお手間かと思いますので、事前にお電話で予約を取っていただくようご案内しているものです。

副委員長 募集要項内の応募書類の提出方法についてですが、メールでも提出できると記載がありますが、個人情報等も含まれてくるので提出できるか確認をしておいていただきたのですが。

事務局 過去にもメールで、提出書類をご提出いただき、受理をしたことがありますので提出できない、受付できないことはないですが、メールでの受付はほとんどないです。

委員長 でしたら、提出方法については募集要項に記載の方法であればどれも受付できるということですね。

【「協働事業報告会」本のリサイクル関連事業（リサイクルブック“つながり”）について】

委員長 続いて、募集要項内に記載のある成案化事業について報告会があるということで、資料4について事務局より説明をお願いします。

事務局 協働事業報告会等について、資料4に基づき説明。

副委員長 前回の報告会の際、市からの設定テーマでの成案化事業であったのに、担当課から説明等が不十分なまま報告会が終了しているので、今回はそのようなことがないよう十分注意していただきたいです。また、事業内容だけでなく、協働をすすめたねらい等についても市側からの報告をお願いしたいと思います。

委員長 そうですね。「協働」事業ですので、事業としてだけでなく、協働の点からも説明がほしいですね。

副委員長 次回の市民協働推進委員会の議題は何ですか？

事務局 午後1時からの報告会の内容を取りまとめた報告と、平成29年度に行った「つながり」以外の協働事業の報告、平成30年度の協働事業の事業計画について説明させていただきます。

委員 市民活動センターの業務について、市民の皆さんの関心も多くあることから、大阪NPOセンターに委託されて丸1年経ったと思うので、委託前と後でどう変わったかの総括的な報告等があればいいなと思います。

委員長 そうですね。みなさんの関心もあり、大きな変化だったと思いますので、ぜひしていただければと思います

事務局 報告については大阪NPOセンターと調整をさせていただきます。

【その他について】

事務局 その他案件について説明。（男里川水系事業で児童の描いたポスターでカレンダーを作成したことについての報告）

委員長 それでは、本日の推進委員会を終了いたします。